

地方創生取り組み視察

片山担当相 三原と東広島

片山さつき地方創生担当相は9日、三原、東広島両市を訪れ、地方創生の取り組みを視察した。

三原市ではだるま市「三原神明市」の会場で、市内の西小と天和中が設けたブースを訪問。子どもが地元企業と共同開発したドーナツやタルトを購入し、味付けの工夫や販売方法を尋ねた。東広島市では「ものづ

くりのデジタル化」をキーワードにした広島大などのプロジェクトや、地鶏ブランドの開発を進める市の取り組みを聞いた。

片山氏は視察後、「広島県が、中国地方から東京への人口流出を止める役割を果たしてほしい」と強調。地域経済や住民生活の拠点となる「中枢核都市」に広島、呉、福山の3市が選

子どもから企業と共同開発した菓子の説明を聞く片山氏（右端）（9日、三原市）



ばれた県への期待を示した。

（村田拓也、政綱宣規）